

# 答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

令和元年 11 月  
常呂まちづくり協議会



令和元年 11 月 13 日

北見市長 辻 直 孝 様

常呂まちづくり協議会  
会長 中 村 弘 幸

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

令和元年 9 月 5 日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、  
慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## ～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、令和元年9月5日に「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー未来を拓く活力創造都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

本協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、常呂自治区の特徴を活かしたまちづくりを進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた5つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区の今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、全64事業を取りまとめ、このうち12事業を最優先事業とし、特記事項1件を掲げました。



市長におかれましては、第2次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますようお願いいたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中ではありますが、「安全・安心のまちづくり」を強化・推進するとともに、限られた財源の中、効率的な行財政改革に積極的に取り組んでいただき、本協議会で出された意見等につきましては、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくとともに、自治区の特徴を活かしたまちづくりの推進に向け、市長のリーダーシップが発揮されることを期待いたします。

# 常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第2次実施計画」に盛り込むべき事業～

## 基本目標1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築事業

常呂保育園は、常呂自治区内唯一の認可公立保育園であります。建設から40年以上が経過し、老朽化が著しい状況であります。園児数の減少や施設の老朽化等への対応を図るため、分散している施設の集約を図ることにより、保育機能の充実や安定した教育・保育環境の将来にわたる確保のため、常呂保育園、かもめ保育所、子育て相談センターを統合し、早期の開園を目指し、引き続き整備を行う必要があります。

また、全国的な保育士の人材不足が社会問題となっている中、常呂自治区においてはより深刻な状況となっており、中期的な常呂自治区における保育園のあり方を見据えた上で、新しい保育園の開園に支障を来たさないよう、保育士の働きやすい環境づくりのため、待遇改善を含めた人材確保について、積極的な取り組みが必要です。

なお、本施設に限らず整備後の施設運営にあたっては、予防保全を目的とする計画的なメンテナンスを行い、施設の安全性を確保しつつ、将来的に増加する維持管理費用の縮減、平準化を図ることが望まれます。



移転改築を予定する常呂保育園

## 〈優先事業〉

- へき地保育所整備事業
- 北見市老人いこいの家改修工事
- 通院バス購入事業

川沿保育所は、入所児童が年々減少してきたことにより、平成 29 年 3 月をもって閉所しましたが、昭和 52 年に建設した施設は老朽化が著しい状況であり、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

北見市老人いこいの家は、利用者からの要望や苦情があることから、正面玄関前階段における手すりの設置やトイレの改修により、安全・安心な施設の利用環境を整える必要があります。

通院バスは、地域高齢者にとって貴重な通院の手段となっていますが、購入から 20 年以上が経過し、車両部品の供給が滞りつつある状況にあることから、適切な車両の更新が必要です。

## 【特記事項】

- 特別養護老人ホーム改築支援事業（特養ところ）

「特養ところ」は、昭和 47 年 3 月、旧常呂町による町立特別養護老人ホームのぞみの園として開設された施設を前身とし、社会福祉法人ところ福祉会による運営を経て、平成 25 年 7 月、「JA 北海道厚生連」に事業譲渡され、現在に至っています。

現在の施設は開設後 47 年が経過し、老朽化が著しく、利用者の居住環境や職員の就業環境の改善が喫緊の課題となっていることから、厚生連では、旧常呂町からの要望を受け、「常呂町生活・生きがい拠点整備構想」に基づき、常呂厚生病院と特別養護老人ホームところの一体的整備を目指し、常呂自治区における医療・保健・福祉を包括した質の高いサービス提供を行えるよう、令和 4 年 2 月の供用開始に向け、「特養ところ」の移転改築整備事業を予定しています。

本事業は、常呂自治区の住民が健康で安心して暮らし続けるための重要な生活基盤の核となる事業であり、常呂自治区の地域振興に寄与することから、これまでの経過も踏まえ、事業の円滑な整備に向け、厚生連に対する積極的な支援を行うことが望まれます。

## 基本目標2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂町カーリングホール整備事業

常呂町カーリングホールでは、平成 25 年オープンの施設であります。設備や備品類の更新が必要な時期を迎えています。国際大会開催規格に準拠し、競技場数6シートを備えた国内最大級の専用屋内施設として、計画的に設備・備品類の更新を行うことが求められます。



整備を予定する製氷機

#### ◎学校屋根改修事業

川治小学校は、築 30 年以上が経過し、校舎・屋体屋根の老朽化が著しく、塗装が劣化し、一部雨漏りが発生している状況にあります。児童の学習・生活に必要となる空間・学習環境を確保するために適切な施設整備が必要です。

#### ◎常呂学校給食センター配送車更新及び車庫設置事業

常呂学校給食センターは、常呂自治区内の小中学校に学校給食の配送・回収を行っています。現在、稼働中の配送車は、平成 4 年度に購入してから 20 年以上が経過し老朽化が著しいことから、学校給食の安定供給を図るため、車両の更新及び車庫の設置が必要です。

#### ◎常呂遺跡世界遺産登録推進事業

常呂遺跡世界遺産登録推進事業は、常呂遺跡の価値や重要性を広く国内外に発信し、多くの人々に知っていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業です。

世界遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその基礎となることから、遺跡についての理解を深める事業を積極的に展開するとともに、東京大学や関係自治体と連携し、オホーツク圏域全体で機運を盛り上げていく必要があります。



## ◎史跡常呂遺跡整備事業

史跡常呂遺跡整備事業は、「ところ遺跡の森」の縄文・続縄文・擦文文化及び「トコロチャシ跡遺跡群」のオホーツク・アイヌ文化を中核とした総合的な史跡整備であり、北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然を学ぶことができる拠点の形成を目指すものです。同事業の推進にあたっては、引き続き史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働きかけを行い、文化財の保護、啓発に努めていく必要があります。



また、ところ遺跡の森の復元竪穴住居は、平成4、5年度に整備していますが、老朽化が著しいことから、引き続き再整備に向けた計画的な事業実施に努めるほか、周辺施設についても教育・学習や観光などの地域資源としていくための適切な整備が必要です。

### 〈優先事業〉

- 教員住宅解体事業
- 学校附帯施設整備事業
- 廃校校舎等解体事業
- 常呂町多目的研修センター整備事業
- 常呂町スポーツセンター整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- ところ遺跡の森施設整備事業

教員住宅には、老朽化が進み長期間空き家となっている住宅が多数あり、入居の見込みのない住宅については、地域の環境整備や安全確保のため、計画的に解体撤去することが必要です。

川沿小学校・錦水小学校の地下タンクは、設置から35年及び34年経過しており、燃料流出対策が必要なことから、地下タンクの内面を表面処理することにより、安全に学校生活を送れるよう適切な環境の整備が必要です。

川沿小学校旧校舎は、昭和 35 年に建設された施設で、現川沿小学校校舎が整備されてからは倉庫等に使用されてきましたが、老朽化が著しい状況であり、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

常呂町多目的研修センターでは、電気設備の一部が故障しており、施設の運営に支障を来していることから、調査業務を行うことにより改修計画を策定するとともに、老朽化した設備・備品の適切な更新が必要です。また、市民の生活、文化の向上と福祉の増進を図るための生涯学習拠点施設として、より積極的な生涯学習活動の推進が望まれます。

常呂町スポーツセンターでは、スポーツ合宿等の受け入れ環境の向上を目指すほか、市民の体力向上の拠点施設として、利用者の視点にたった備品や設備類の更新を行うとともに、ハード面だけではなく、健康運動指導士等による指導やスポーツ教室の開催などソフト面の充実を含めた、利用環境の改善に向けた検討が必要です。

常呂町健康温水プールは、オホーツク海に面する厳しい立地条件にあり、老朽化が進んでいる状況にあることから、利用者の安全を確保するため、適切な対応が必要です。機械・設備類についても、経年劣化が著しく、施設運営において支障を来す状況も想定され、計画的に更新を行うことが求められます。

ところ遺跡の森には、専門家のほか、多くの市民・観光客が訪れている一方、開園から 25 年が経過し、各種設備や車両の老朽化が著しく、施設の運営に支障を来すことが懸念される状況にあることから、各種設備・車両等の更新について計画的な整備が必要です。

### 基本目標 3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

#### 〈優先事業〉

- 水利施設等保全高度化事業 常呂福山
- 水利施設等保全高度化事業 常呂第3土佐
- 水利施設等保全高度化事業 常呂第2岐阜
- 水利施設等保全高度化事業 常呂豊川第2
- 水利施設等保全高度化（基幹水施設整備）常呂
- 農村地域防災減災（ため池整備）福山 23 号
- 農村地域防災減災（ため池整備）日吉左岸
- 土地改良施設常呂地域排水対策維持管理事業

- 常呂地域排水対策事業 福山・日吉
- 農村地域防災減災事業（用排水施設整備）姉問
- 明渠排水路取付横断管応急対策事業
- 排水機場施設設備整備事業
- 幹線排水路維持管理事業
- 基幹水利岐阜排水機場更新事業
- 国営常呂川下流地区整備事業
- ワッカ原生花園周辺施設整備事業
- 常呂森林公園整備事業
- 地域おこし協力隊事業（ところ観光コンシェルジュ）
- 常呂常南ビーチ海水浴場運営管理費

水利施設等保全高度化事業、明渠排水路取付横断管応急対策事業、幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

農村地域防災減災（ため池整備）事業、国営常呂川下流地区整備事業は、近年、大雨や台風などの自然災害が多発しており、毎年のように災害に見舞われている状況の中で、将来にわたり安定した農業経営と生産基盤を維持するため、恒久的な排水対策について、関係機関と協議し、計画的な整備が必要です。

農村地域防災減災（用排水施設整備）事業、排水機場施設設備整備事業、基幹水利岐阜排水機場更新事業は、各地域に湛水被害防止のための施設として排水機場を設置していますが、それぞれ年数が経過しており、施設の老朽化やポンプ等設備機器の経年劣化が懸念される状況にあることから、各施設の安定した稼働確保ため、施設の適切な保全や設備機器の計画的な更新整備が必要です。

土地改良施設常呂地域排水対策維持管理事業、常呂地域排水対策事業は、大雨時は各樋門・樋管において、既設や臨時に設置した水中ポンプにより対応していますが、排水能力が不足していることや必要時に速やかに対応が出来ない状況が発生しているため、事態に応じて素早く対応するための水中ポンプ等の整備と適切な維持管理を行う必要があります。

北海道遺産に選定されているワッカ原生花園では、300種類以上の草花をはじめとする広大な自然を楽しまれており、センターハウスとしての役割を担っているサロマ湖ワッカネイチャーセンターや水飲施設などが利用されていますが、より観光客に安全で快適な環境を整えるための整備が必要です。

常呂森林公園は、パークゴルフ場、百年記念展望塔などで構成されていますが、特にパークゴルフ場センターハウス階段の老朽化が著しく、安全性の観点から修繕が必要な状況です。また、利用者が多いバーベキューハウスについては、自然環境の保全を推進するため、浄化槽を設置することが望ましく、公共施設として適切な施設管理が必要です。

地域おこし協力隊事業は、全国的な人口減少等により常呂自治区に訪れる観光客も減少することが見込まれる中、地元で暮らしていても気づけない魅力を新たな目線や発想で再発見・発信するため、総務省が推進する「地域おこし協力隊」制度を活用し、SNS等を活用した地域情報の発信やワッカ原生花園やカーリングホールなど観光施設のガイドのほか、常呂の新たな魅力となる観光資源の発掘や体験型観光プランの企画・開発等を行うことにより、観光の再生や地域の活性化に繋げる活動に積極的に取り組む必要があります。

常呂常南ビーチ海水浴場は、オホーツクで数少ない海水浴場として、市内外の方々に親しまれていますが、案内や注意喚起を促す看板の経年劣化が著しいことから、景観及び安全確保の観点から早急な更新が必要です。

#### 基本目標4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎日吉地区複合施設整備事業

日吉地区複合施設整備事業は、日吉会館、日吉出張所、日吉簡易郵便局、常呂消防団第3分団詰所といった公共施設が、いずれの施設も建設から30年以上を経過し老朽化が著しい状況です。このため、これらの公共施設を統合し、複合施設として整備することにより、機能の充実と利便性の向上を図り、避難所としての防災機能を持たせることで、安全・安心のまちづくりを引き続き推進する必要があります。

#### ◎市営バス更新事業

市営バスは、スクールバスとしての機能も兼ねている市民生活に不可欠な公共交通機関であります。既に90万km以上の距離を走行しており、車両の老朽化とそれに伴う故障の頻発や車体の腐食が進行しているため、適切な車両の更新が必要です。

## ◎市営住宅建替事業

北進町団地は、築 40 年以上経過し老朽化が著しいほか、狭小であり、浴槽がないなど質の向上が望まれる状況にあることから、低い断熱性能や設備水準を解消し、高齢社会に対応したバリアフリー化を実施するため、早急に建て替える必要があります。

常呂自治区内における市営住宅の整備については、今後の人口推移、需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づ

き、市街地の町並み整備、公営住宅利用者の利便性向上など、常呂自治区のまちづくりにとって重要な事業となるものであり、当該事業の計画的な整備が望まれます。



## ◎常呂町 17.5 号線道路整備事業

常呂町 17.5 号線道路と常呂川の堤防の交差部は、市道が堤防より低くなっており、大雨災害等の出水の際に、河川水が堤内に越流する恐れがあることを受け、網走開発建設部が計画している堤防改修工事に併せて、当該道路の改良工事を実施することにより、周辺住民の安全を確保する必要があります。

## ◎常呂町 6 号線道路排水整備事業

常呂町 6 号線は勾配が大きいことから、大雨時に雨水が道路表面を流れ、国道 238 号線に流出し、交差点に滞水し、車両の通行に支障をきたしているため、道路排水施設を整備することにより、車両交通の安全と交通環境の保全を図る必要があります。

### 〈優先事業〉

- 常呂町斎場整備事業
- 常呂町一般廃棄物処理センター整備事業
- 常呂町基線道路整備事業
- 常呂町南町 1 号線道路整備事業
- 常呂町川端線道路整備事業
- 常呂町川東線（日吉地区）道路整備事業

- 公園遊具更新事業
- 市営住宅改善事業
- 常呂自治区橋りょう維持管理事業（流木除去）
- 建設機械更新事業
- 普通財産建物解体事業
- 常呂自治区市街地排水対策事業
- 常呂除雪センター施設整備事業
- 原水及び浄水施設整備事業
- 送配水施設整備事業
- 水道施設耐震化事業
- 特定環境保全公共下水道污水管渠整備事業
- 特定環境保全公共下水道処理場整備事業
- 栄浦漁業集落排水施設整備事業

常呂町斎場は、平成 29 年度に示された「火葬場整備基本方針」において、耐用年数を想定する中で長寿命化を図り、現行の施設は維持することとなっており、経年劣化した機械、設備等についても、安定した住民サービスを継続的に提供するために計画的な補修、更新が必要です。

常呂町一般廃棄物処理センターは、汚水処理施設、破碎処理施設、ストックヤード、最終処分場の 4 つの施設で構成されており、常呂自治区全域から排出される一般廃棄物进行处理する重要な施設であり、施設の安定的な稼働が求められることから、施設機器の定期的な保守管理を行い、計画的な対応が必要です。

各道路整備事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、予算枠の増額確保による計画的な整備・推進が必要と考えます。

建設機械更新事業は、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するため計画的な整備更新が必要と考えます。また、常呂除雪センター施設整備事業も、除雪作業の拠点として、中長期的な視点にたった整備を行う必要があります。

公園遊具更新事業は、公園に設置された遊具やベンチなどの公園施設の老朽化が著しい中、利用者の安全性を確保するために、常呂自治区全体の公園のあり方を踏まえ、計画的な環境整備が必要です。

普通財産として管理している未利用住宅は、それぞれ相当な年数が経過しているため、老朽化が著しい状況にあります。景観や防犯上の懸念があることから計画的な解体撤去が必要と考えます。また、老朽化が著しい建物が数多くあることから、所管部署にとらわれず、常呂自治区全体としての優先順位を定めることが望まれます。

市営住宅改善事業は、既存住宅を良質なストックとして維持していくため、比較的古い団地の設備水準の向上を図るとともに、外壁などの計画的な改善により、市営住宅の長寿命化及び居住性の向上を図る必要があります。

原水及び浄水施設整備事業、送配水施設整備事業、水道施設耐震化事業、特定環境保全公共下水道整備事業、特定環境保全公共下水道処理場整備事業、栄浦漁業集落排水施設整備事業は、安全な水道水の安定供給や排水処理施設の整備による生活環境の向上、水質の改善など極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

常呂自治区市街地排水対策事業、常呂自治区橋りょう維持管理事業は、大雨時に浸水する被害が発生した際に使用する移動式排水ポンプといった資機材を更新するほか、橋りょうの橋脚に滞留する流木を除去することにより、災害時対応の体制を整え、災害に強いまちづくりを目指す取り組みを推進する必要があります。

## 基本目標5. 市民による自主自立のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂総合支所庁舎整備事業

総合支所庁舎は、昭和42年建築であり、築50年以上が経過し、建物・設備ともに老朽化が著しい状況にある一方、激甚化する災害に対応するため、その役割はますます重要になっています。

常呂自治区の市民サービス及び防災拠点施設としての機能を十分に確保するため、耐震改修促進法及び北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断及び現況調査を実施する中で、必要な整備内容を明らかにし、安心して利用できる庁舎機能を継続的に維持するため、計画的な施設整備を行う必要があります。



### 〈優先事業〉

- 常呂まちづくりパワー支援補助金
- 地域会館改修補助事業（末広会館）
- 地域会館改修補助事業（栄町会館）

まちづくりパワー支援補助金は、住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、海水浴場で開催されたイベントや映画の上映会、トークライブによる地域づくり活動等に活用されています。当該事業は、住民のまちづくりへの参加に対する意識啓発に繋がっており、個性豊かで活力ある住みよい地域社会を構築するために、今後も自治区の事情に配慮しながら、継続的に推進されることが望まれます。

末広及び栄町町内会の地域会館は、それぞれ老人クラブの活動や町内会活動など活発に利用されている施設である一方、いずれも築20年以上が経過し、施設の経年劣化が目立ち、施設の延命化を図るため改修が必要な状況となっています。また、末広会館においては、トイレの洋式化を実施することにより、地域住民のコミュニティ施設としての利便性の向上を図る必要があります。



## 常呂自治区懸案事業一覧

### 1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

#### 《子育て支援の充実》

1	常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築事業	常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築
2	へき地保育所整備事業	川沿保育所園舎解体

#### 《地域医療の充実》

3	通院バス購入事業	通院バス購入
---	----------	--------

#### 《高齢者福祉の充実》

4	北見市老人いきいの家改修工事	屋外階段手すり設置工事、トイレドア改修
5	特別養護老人ホーム改築支援事業（特養ところ）	特別養護老人ホームところの移転改築に対する支援

### 2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

#### 《学校教育の充実》

6	常呂学校給食センター配送車更新及び車庫設置事業	給食配送車更新、配送車用車庫設置
7	教員住宅解体事業	教員住宅解体撤去
8	学校屋根改修事業	川沿小校舎屋体屋根改修
9	学校附帯施設整備事業	川沿小・錦水小地下タンク内面上塗
10	廃校校舎等解体事業	川沿小旧校舎解体

#### 《生涯学習の充実》

11	常呂町多目的研修センター整備事業	電気設備改修事前調査委託業務、会議室机・各室網戸更新
----	------------------	----------------------------

《生涯スポーツの推進》

12	常呂町スポーツセンター整備事業	トレーニングルームの充実、更衣室ボイラー更新
13	常呂町健康温水プール整備事業	ポンプ類・ボイラー・電動弁・空調換気扇更新、ウッドデッキ撤去工事、屋上防水工事
14	常呂町カーリングホール整備事業	製氷機・ホグラインセンサー電池・カーリングストーン更新

《文化財の保護・継承》

15	史跡常呂遺跡整備事業	史跡整備専門委員会議、遺跡の森復元竪穴住居再建工事、史跡常呂遺跡整備、各施設・設備改修
16	常呂遺跡世界遺産登録推進事業	世界遺産登録に向けた各種事業
17	ところ遺跡の森施設整備事業	遺跡の森軽トラック更新、トコロ貝塚階段・擁壁改修、遺跡の館券売機更新

### 3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

《持続的に発展する農業の振興》

18	水利施設等保全高度化事業 常呂福山	排水路等整備
19	水利施設等保全高度化事業 常呂第3土佐	排水路等整備
20	水利施設等保全高度化事業 常呂第2岐阜	排水路等整備
21	水利施設等保全高度化事業 常呂豊川第2	排水路等整備
22	水利施設等保全高度化(基幹水施設整備) 常呂	排水路等整備
23	農村地域防災減災(ため池整備) 福山23号	排水施設整備
24	農村地域防災減災(ため池整備) 日吉左岸	排水施設整備
25	土地改良施設常呂地域排水対策維持管理事業	各樋門維持管理
26	常呂地域排水対策事業 福山・日吉	水中ポンプ等整備

27	農村地域防災減災事業(用排水施設整備) 姉問	排水機場施設改修等
28	明渠排水路取付横断管応急対策事業	明渠排水路取付横断管応急整備
29	排水機場施設設備整備事業	福山排水機場の設備機器修繕
30	幹線排水路維持管理事業	幹線排水路・イワケシ・11号排水路の土砂上げ等
31	基幹水利岐阜排水機場更新事業	排水ポンプ満水検知器修繕、監視操作卓入出力中継盤更新
32	国営常呂川下流地区整備事業	排水機能の改善

#### 《着地型観光の推進》

33	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	浄水器設置
34	常呂森林公園整備事業	パークゴルフ場センターハウス階段修繕、バーベキューハウス浄化槽設置
35	地域おこし協力隊事業 (ところ観光コンシェルジュ)	ところ観光コンシェルジュ
36	常呂常南ビーチ海水浴場運営管理費	海水浴場看板更新

## 4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

#### 《地域環境に配慮した低酸素型・循環型社会の構築》

37	常呂町斎場整備事業	主燃焼炉及び耐熱扉セラミック張替、主燃焼炉・再燃焼炉バーナー取替、排気筒耐火物積替
38	常呂町一般廃棄物処理センター整備事業	各種設備・施設修繕、管理用道路舗装工事

#### 《道路網の充実》

39	常呂町基線道路整備事業	道路改良工事
40	常呂町南町1号線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事
41	常呂町川端線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事

42	常呂町川東線(日吉地区)道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事
----	--------------------	----------------

#### 《公共交通の確保》

43	市営バス更新事業	市営バス更新
44	建設機械更新事業	除雪グレーダ・除雪トラック更新

#### 《良質な住宅・住環境の形成》

45	普通財産建物解体事業	普通財産建物(住宅)解体撤去
46	市営住宅建替事業	北進町団地建替
47	市営住宅改善事業	市営住宅南町・新西町団地改善工事
48	公園遊具更新事業	公園施設(ベンチ・遊具等)の更新

#### 《水道水の安定供給と下水道の確保》

49	原水及び浄水施設整備事業	4号井浄水場整備(滅菌設備更新)
50	送配水施設整備事業	吉野浄水系統送配水設備(非常用電源購入、減圧弁・減圧弁室設置工事)
51	水道施設耐震化事業	水道施設耐震診断
52	特定環境保全公共下水道污水管渠整備事業	公共污水樹設置
53	特定環境保全公共下水道処理場整備事業	ボイラー設備実施設計等
54	栄浦漁業集落排水施設整備事業	修繕改築計画策定

#### 《防災の強化》

55	日吉地区複合施設整備事業	防災機能を備えた複合施設の整備
56	常呂町17.5号線道路整備事業	道路改良・舗装工事

57	常呂自治区橋りょう維持管理事業 (流木除去)	橋りょう橋脚部流木撤去
----	---------------------------	-------------

#### 《地域の安全の確保》

58	常呂自治区市街地排水対策事業	移動式排水ポンプ、発電機購入
59	常呂町6号線道路排水整備事業	排水施設整備工事
60	常呂除雪センター施設整備事業	除雪車両車庫改修工事、除雪センター改修工事

### 5. 市民による自主自立のまちづくり

#### 《住民自治の推進》

61	常呂まちづくりパワー支援補助金	地域住民のまちづくり活動に対する支援（補助金）
62	地域会館改修補助事業（末広会館）	末広会館の改修に対する支援（補助金）
63	地域会館改修補助事業（栄町会館）	栄町会館の改修に対する支援（補助金）

#### 《行政サービスの向上》

64	常呂総合支所庁舎整備事業	総合支所庁舎耐震診断・現況調査
----	--------------	-----------------

## 【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	9月5日(木) 午後1時30分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	9月27日(金) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月25日(金) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	10月31日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H30.6.14～H32.6.13】

	氏 名
委 員	石 澤 園 江
委 員	久 世 和 徳
委 員	近 藤 圭 介
委 員	阪 口 耕 一
委 員	新 谷 有 規
委 員	鈴 木 倫 子
委 員	内 匠 英 樹
委 員	田 淵 春 美
委 員	敦 賀 信 人
◎会 長	中 村 弘 幸
委 員	野 辺 心
委 員	安 田 圭太郎
委 員	山 内 優里子
○副 会 長	山 本 穎 治
委 員	吉 田 富美江

50音順